

# 大橋川通信



2005.1  
第7号

刊行/  
大橋川コミュニティセンター

## 迎春

特集

「大橋川改修の具体的内容」について

大橋川の朝焼け(宍道湖大橋より大橋を臨む)

### 大橋川の 新しい夜明け

昨年は全国的に台風・豪雨・大地震と天災が多発し、防災が強く意識された年でありました。幸い松江市周辺では、大きな災害もなく過ごすことができましたが、被災地の報道に接するたび、安全に安心して暮らせることの重要性を認識させられました。

そうした中、昨年12月に「大橋川改修の具体的な内容」をお示し致しました。大橋川改修は、昭和54年に一度発表していますが、今回は「中海・宍道湖淡水化の中止」により宍道湖が汽水湖として残ることなど、条件の大幅な変更があり、「環境に配慮」して新たに計画したものです。

今回の内容は、河川改修の骨格となる「堤防法線」、「堤防高」、「代表的な横断形状」など、洪水の流れる河川形状を示しています。

今後は、この内容を基に「治水・環境・まちづくり」が調和した計画を立案するため、堤防・護岸の形状、大橋・新大橋のデザインなどの「まちづくり」と「水環境」について、地域の皆様のご意見をいただきながら、国・島根県・松江市が一致協力して進めます。



# 大橋川改修の進め方

# 大橋川沿川のまちづくりと環境調査は、広くみなさんのご意見を聞きながら進めていきます。

### 現在は、

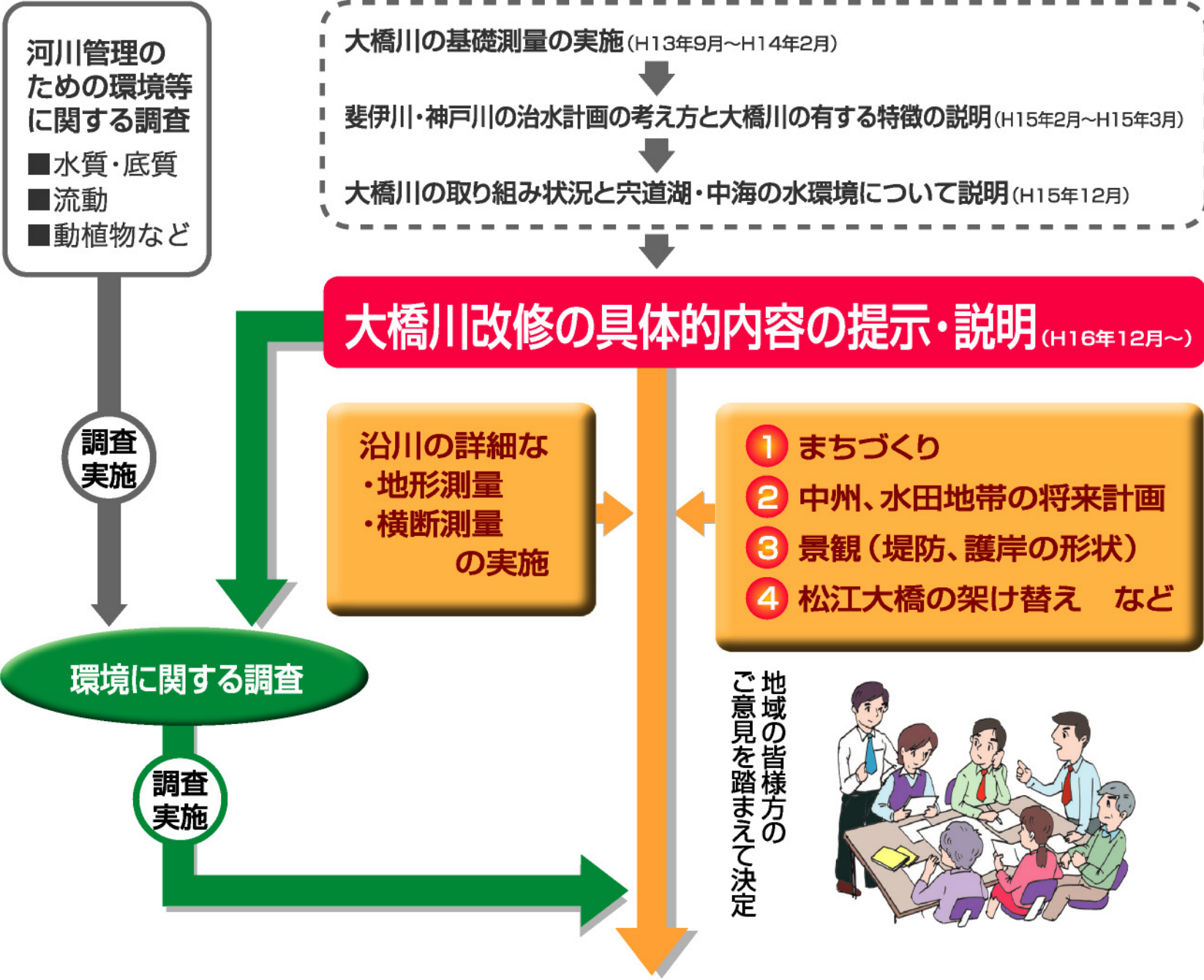
現在は、河川改修の骨格となる洪水の流れる河川の断面を示した「大橋川改修の具体的内容」の提示・説明を行っている段階です。  
その内容は、大橋川の堤防の高さや掘削の深さ、拡幅する幅といった洪水を安全に流すための河川形状を示しています。

### これから

堤防や護岸の形状、松江大橋などの架け替えの他、道路整備を含めたまちづくりに関して地域の皆様のご意見を聞きながら計画を進めていきます。  
詳細な計画を立てるためには、現状がどのような地盤の高さにあるかなど、詳しい測量を行う必要があります。地域の皆様の同意を得て測量を実施します。

### あわせて

大橋川及び中海・宍道湖の水環境や動植物の生息・生育環境に与える影響について、様々な分野の学識経験者からなる委員会を設置し、調査・検討を行います。



# まちづくりと一体となった大橋川改修の具体的計画内容の提示・説明



# 「治水と環境とまちづくりの調和」

## 前提条件 の変化

国営中海土地改良事業の大幅変更により  
大橋川改修の前提条件が変わりました。

### ■ 中海・宍道湖の淡水化中止

→ 中海、宍道湖の淡水化事業の中止により、中海、宍道湖の異なる汽水環境が、今後も保全されることになりました。

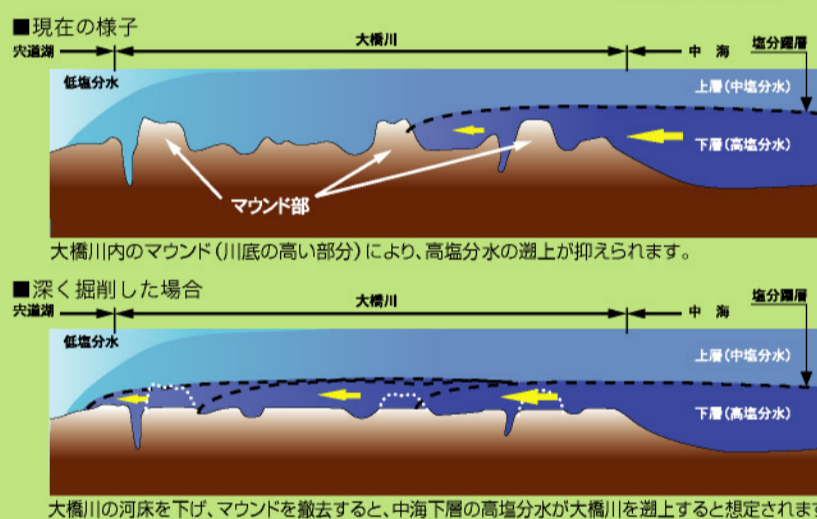
### ■ 中浦水門の全面撤去

→ 淡水化事業の中止に伴う中浦水門の撤去により、中海における洪水時の水位が低下します。

### ■ 本庄工区の干陸中止

→ 本庄工区の干陸化中止により、洪水時の遊水効果が今後も維持されることになりました。

宍道湖の低塩分な汽水環境は、大橋川によって作り出され、維持されています。



## 基本的な 考え方

## 「治水と環境とまちづくりが調和する改修」

### 治水

- 洪水時の宍道湖の水位をH.P. +2.5mに抑え洪水を安全に流下させるための断面を確保します。  
⇓  
河床の掘削を優先し、その上で拡幅による地域社会への影響を小さくする河道とします。
- 松江市街地中心部を大橋川の水位上昇から守るため無堤部の築堤を行います。

### 環境

- 宍道湖と中海に生息・生育する生物への影響を考え、水環境に大きな変化を与えないよう配慮します。  
⇓  
大橋川内にあるマウンドを保全します。

### まちづくり

- 堤防・護岸の形状、架け替えとなる橋梁のデザインについて、国際文化観光都市である松江市の景観にふさわしいものとします。



# を基本にした「大橋川改修の具体的内容」

公表資料の詳細は「大橋川コミュニティセンター」で閲覧できます。  
また「大橋川コミュニティセンター」のホームページでもご覧いただけます。

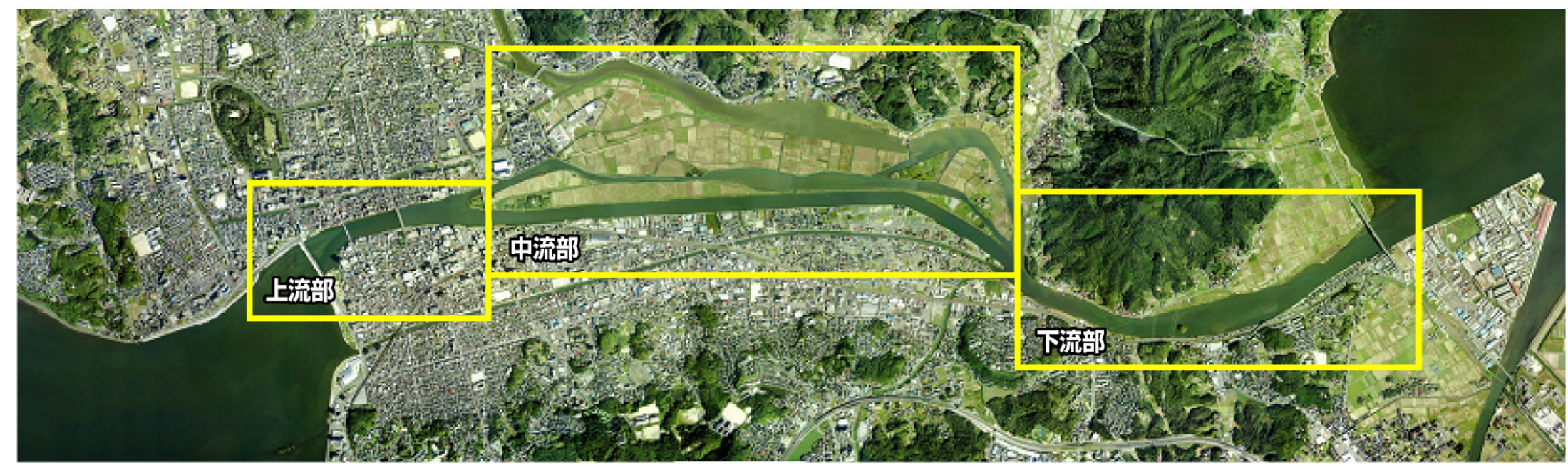
<http://www.mable.ne.jp/~comisen>

## 大橋川改修の内容

社会的影響や水環境への影響を考慮し、洪水を安全に流す河川形状としました。

### 基本方針

- 洪水時の宍道湖水位H.P.+2.5mに対応する堤防を築きます。
- 市街地への社会的影響を考慮し、掘削を優先します。  
(但し、汽水環境に配慮し、掘削の深さは、H.P.-3.5mとします。)
- その上で、河川断面が不足する箇所は拡幅を行います。

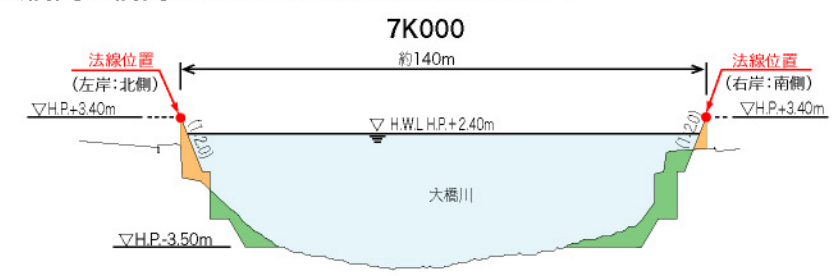


## 上流部

市街地部の拡幅は、社会的影響を小さくすることを考慮します。  
➡ 大橋川の南岸を、なめらかな河道形状とします。



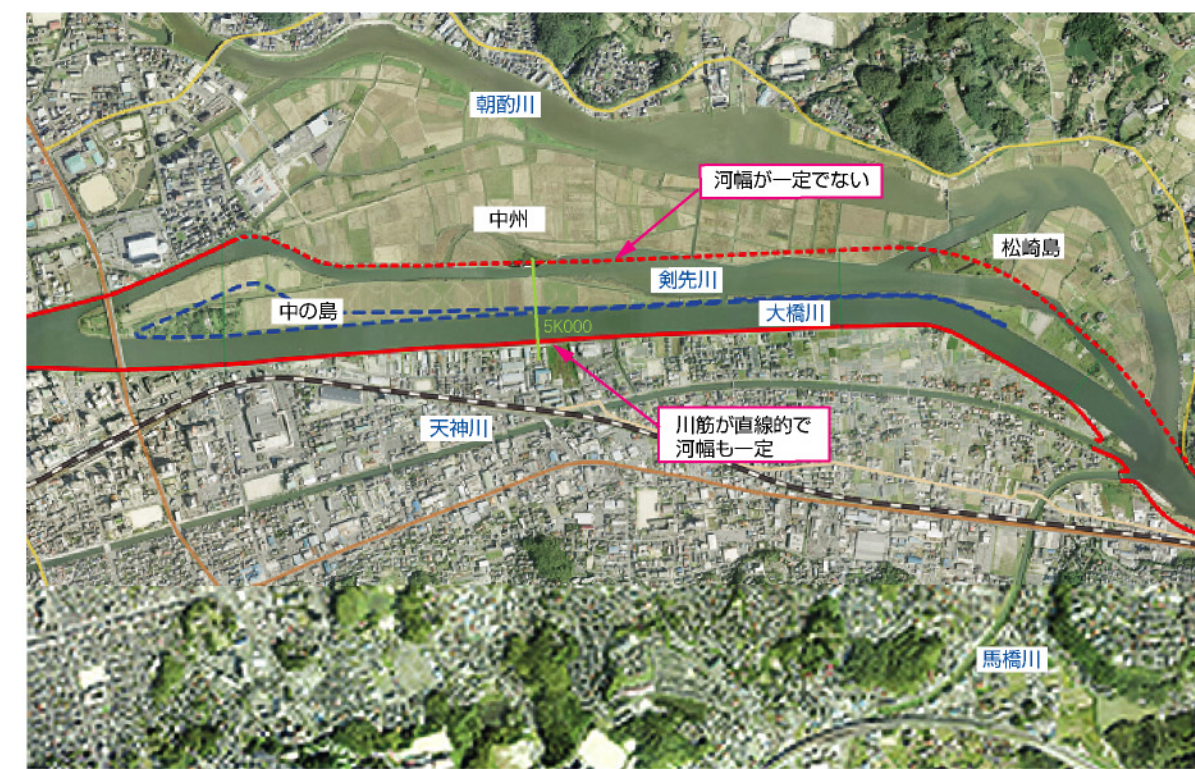
呑口部～新大橋間で橋南側を約20mの拡幅を行います。



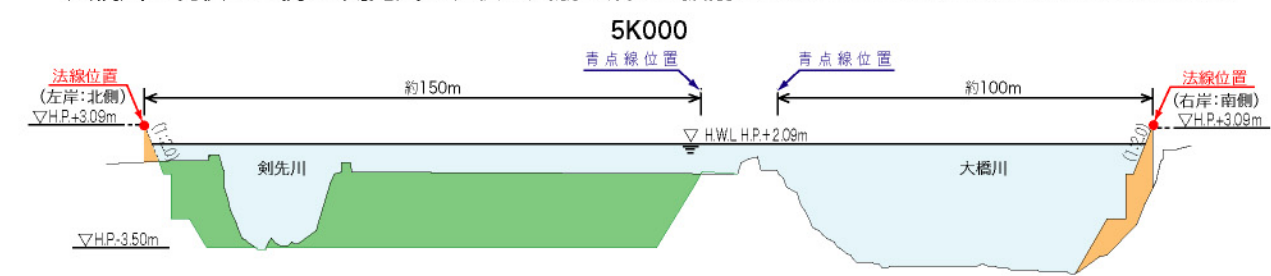
※断面位置は航空写真に示してあります。  
H.P.とは昭和43年以前に計測した水準点の高さ (T.P.±0m) を基準に標高を示したものです。

## 中流部

治水と環境の両面に配慮して現在の河道形状を重視し、地域社会への影響を小さくすることに配慮します。  
➡ 大橋川は現状を重視し、剣先川は現在の河道を有効活用します。

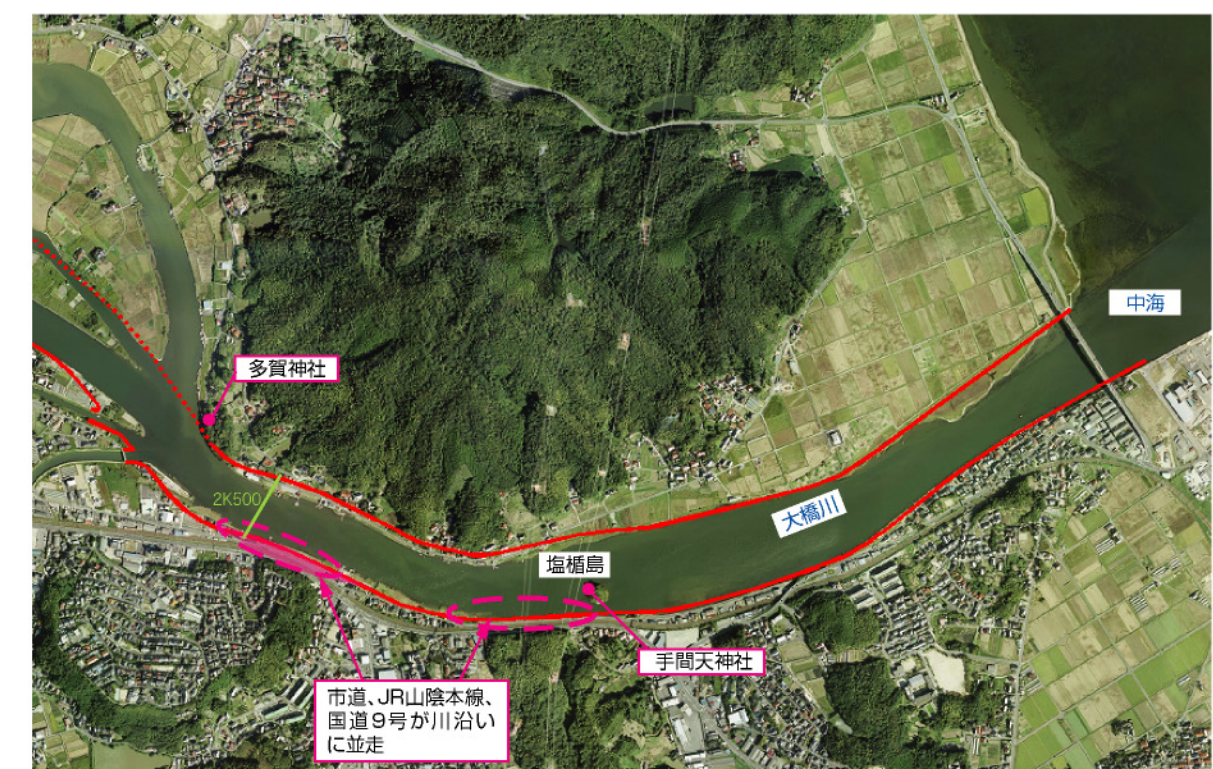


大橋川は現状を重視し、剣先川で現状の川筋に沿った掘削、さらに河幅の狭い部分の拡幅を行います。



## 下流部

両岸の地域社会への影響や歴史的財産、広域的な交通基盤施設に配慮します。  
➡ 両岸を安全でなめらかな河道形状とします。



朝酌川合流点より下流の河幅の狭い部分について、掘削及び両岸で約40mの拡幅を行います。



掘削・拡幅断面  
築堤断面



# 「大橋川改修の具体的内容」について、各地で説明会を行っています。

昨年12月1日の公表以来、大橋川沿川にお住まいの方、地元の代表者の方、一般市民のみなさんへ説明会を行っています。

説明会では、住民の意見を反映した計画として欲しいといった要望や、観光資源でもある松江の景観や沿川地域での社会的影響への十分な配慮を望む声の他、やるなら早く進めるべきだという意見も聞かれました。

今後も関係地区などで説明会を実施いたします。

## ＜主なご意見・ご要望＞

- 治水計画、まちづくり構想等に対する意見・要望。
- 自分の家・土地が計画の影響範囲に入るかどうか。
- 着工はいつ頃か。また完成はいつ頃か。
- 鳥取県との協議は怎么样了のか。
- 環境に対する意見・要望。



説明会の様子

## 2月より 「大橋川コミュニティセンター」で説明を開始します。

大橋川コミュニティセンターでは、昨年12月より行っている説明会と同じ内容の説明を2月より開始いたします。これは、予約制で火曜日と木曜日に行っている勉強会の中の1つで、9つの講座から選択できます。

事前予約が必要で、お申し込みやお問い合わせは、大橋川コミュニティセンターまでお願いします。

## ＜説明内容＞

- 現在の松江市のおかれている状況
- 斐伊川・神戸川治水計画
- 大橋川改修の具体的内容の考え方
- 大橋川改修の具体的内容
- 大橋川改修の今後の進め方



## ご案内

「大橋川改修に関する環境調査検討委員会」を開催いたします。

「大橋川改修の具体的内容」が大橋川及び汽水湖である中海・宍道湖の水環境や動植物の生息・生育環境に与える影響について、科学的データと専門知識に基づいた客観的な評価を行うため、様々な分野の学識経験者からなる「大橋川改修に関する環境検討委員会」を開催します。

■日時: 1月26日(水) 13:30~16:00 (13:00より受付開始)

■場所: くにびきメッセ 1F 多目的ホール  
どなたでもご自由に傍聴いただけます。

## 「大丈夫か 松江市の豪雨災害」松江工業高校新聞で特集

「豪雨災害」大丈夫か 水郷松江の備え」と題して松江工業高校新聞が特集を組んでいます。加納先生と3人の部員は全国で多発する風水害の中、「松江47年災害」以来、水害のない松江市を「30年間の奇跡」と捉え、記憶の風化している現実に危機感を表しています。

特に、昭和47年当時より自動車や地下施設の増加によるリスクの拡大と、松江市の水害は浸水時間が長く、新潟・福島豪雨災害や新潟・福井災害より被害が大きくなると予測するなど、若い視点での確にとらえた紙面となっています。

この新聞は、「県高校新聞コンクール」で最優秀賞を受賞しています。



加納先生と新聞部メンバー

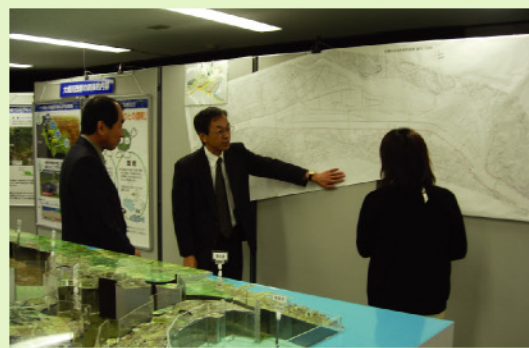
## 閲覧及び相談窓口を開設:大橋川コミュニティセンター (開設時間:10:00~16:00)

新聞で「大橋川改修の具体的内容」を公表したことを知り詳細を知りたいと訪れる方、大橋川沿川にお住まいの方でより詳細な情報を知りたいという方などに、閲覧や相談にお越しいただいております。

大橋川コミュニティセンターでは、「大橋川改修の具体的な内容」の閲覧が出来る他、土・日も相談窓口を開設しておりますので、是非お立ち寄り下さい。

## ＜閲覧内容＞

- 大橋川改修の具体的な内容を示した冊子
- 平面図 計画の堤防法線が入ったもの (縮尺:1/2,500)
- 縦断図 大橋川の川底の形状や河岸の地盤高、堤防高を表したもの
- 横断図 代表的な箇所での計画の断面形状を表したもの
- 今後のまちづくりの考え方



閲覧の様子

※「大橋川の今昔」については、今号はお休みとさせていただきます。

# 大橋川コミュニティセンター

[開館日] 年中無休(年末年始除く) [開館時間] 9:30~16:00 [駐車場] 5台程度  
〒690-0841 松江市向島町134-1  
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623  
E-mail:comisen@mable.ne.jp  
ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



\*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。

